

2019Japan National Team Report ” サポーター”



報告者氏名	川前綾子
大会名	アジア & オセアニア選手権
開催地	オマーン ムッサナー
大会期間	2019/09/30～2019/10/08

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	立派な国際空港、現地まではバスで約1H半。道路も舗装されていてキレイ。道路の脇はほぼ砂地、山には木が少なめ。モスクや飲食店などが点在している。開催場所はヨットリゾートで、比較的豪華でキレイな所だった。
宿泊場所	宿泊棟が2つ、2名部屋が多め。キレイなプールや大きな水上遊具、レストランがあり、部屋から徒歩2～3分でスロープまで着くことができる。レストランは、毎日異なるテーマで料理が出され、飽きることがなかった。水も十分な量のペットボトルが各部屋に準備されていた。
大会のサポーターへの対応は	サポーターの宿泊は、旅行会社を通した方が安かったのも、主催者を通さず安い方を選んだ。開会式後のレセプションは有料。昼食もついていなかったのも、朝食時に毎日、各自工夫して昼食を作り、部屋に持ち帰った。日本のオマーン大使の秘書婦人が会場を訪れてくれ、スーパーまで送迎してくれたのも、必要なもの(お菓子やジュース)の買い出しができた。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	食事がバランスよくしっかり取れていたためか、体調を崩す子は少なかった。少し疲れた子はプールで遊ばずに部屋で横になっていたり、各自体調コントロールをしているようだった。保護者と同棟だったので、部屋の空調や補食等にも、目が行き届きやすかった。ランチバッグは、ハンバーガー/野菜スティック/ジュース/シリアルバー/フルーツが入っており、そこに毎日おにぎりを追加。
サポーターとして気をつけたことは？	体調、部屋の空調/湿度、食事(全員がバランスよく食べているか、お皿に乗っているものを毎食確認しに行った)。体調は、メンタル/フィジカルのどちらが原因かがわかりにくいので、特に気になる選手それぞれにさりげなく声をかけるように、気を使った。一人だけでなく、複数の母がそれぞれ声をかけて情報共有していた。「選手が言いにくいことを話しやすい雰囲気」を作るのも大事だと思った。閉鎖的な空間で長く過ごすため、成績のことや集合時間/忘れ物/紛失物/部屋の整頓など、どうしても親子間でも亀裂が起こる可能性もあり、それぞれがフォローしあっている雰囲気だった。
海外の選手を見て感じたことは？	日本の選手は、メディアにカメラを向けられても英語で何かを話すことができない。今回、英語でオマーンの気に入っている所を話せる選手はいるか？と、2～3回メディアに声をかけられたが、多分要望通りのコメントがほとんどできていなかったと思う。
日本の選手を見て感じたことは？	女子は積極的に海外選手と友達になったりユニフォーム交換していた。男子は部屋で5人べったりしていることが多かったが、ユニフォーム交換はできていた。

Spare dayの過ごし方は？	チームレース後、敷地内のプールで遊んだ。 また、大会後に、1日観光日を設け、市場や博物館へ行った。
日本チームとしての課題はありましたか	英語力、国際交流力。競技力の向上。 全体的な順位は決してよくはなかった。日本全国の仲間が同時に集まって練習するのは難しい。日本男子は他国選手よりも体が大きかったし、中3になるとどうしても、選考会後に勉強にシフトしてしまい練習日が少なくなる子も多い。ワールドレベルの選手が参加してくる強い国と互角に戦うのは、到底難しいと感じた。
JODAへの要望	保護者・選手20名、最後までとてもよい雰囲気で終えることができました。 このような機会をいただき、本当にありがとうございました。
その他	

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会